

June 2007



### 夏の小粒な星座たち

夏の星座といえばこと座やわし座、はくちょう座、さそり座などの有名どころが多くあり、小さな星座はあまり関心を持たれませんが、たまには注目してあげてください。ベガ、アルタイル、デネブがつくる『夏の大三角』付近にはこぎつね座、や座、いるか座、こうま座の4つの星座があります。どれも明るい星が少ないうえ、天の川の中にあるということもあり目立たないですが、MyStars登録者数は結構多く、4星座で約300名の方が登録されています。中でもいるか座は160名と一番人気です。夜空でもアルタイルの東にある小さな菱形は意外と目に付きやすいです。いるか座の西にあるや座は小さく一列に並ぶ星が、こうま座はペガサスの鼻先で小さく細長い三角形が目につきます。こぎつね座は星座としては結びにくく難しい星座のひとつですが、この中にはアレイ星雲という星の残骸があり、望遠鏡はもちろん双眼鏡でも確認できます。その姿は丸いせんべいを両側からかじったようで、機会があれば一度見て下さい。

# 綺羅星・星座図鑑

## 魚の星座

魚の星座にはどんなのがあるでしょう。魚類の星座は4種類あり、北海道から見えるのは魚座と南魚座。九州まで行くと旗魚（かじき）座が加わり、沖縄では飛魚座もちょっと見えます。

### 魚座と南魚座

魚座といえば誕生日星座でもおなじみの星座で、どちらも秋の星座です。作者はアレキサンドリアの天文学者プトレマイオスで、彼が作った48星座の中に入っています。魚座と南魚座は水つながりがあるせいか、水瓶座を挟んでいます。

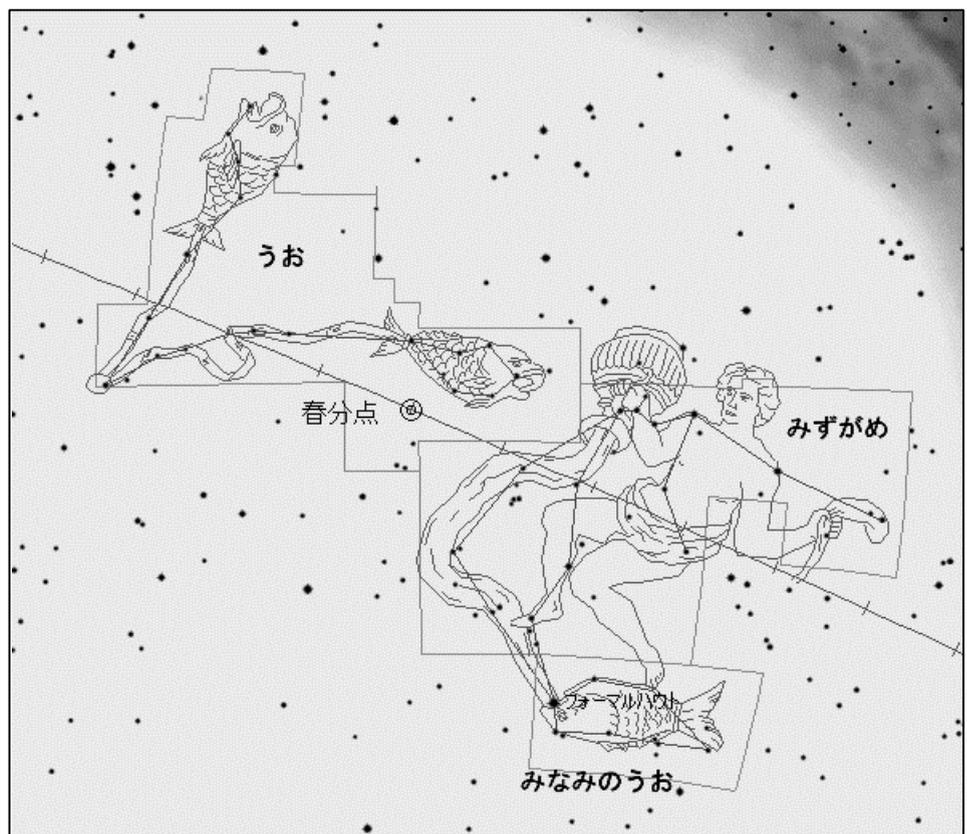
魚座は2匹の魚がひもで結ばれた姿をしています。この2匹は親子なのだそうです。

誕生日の星座としておなじみのもので、プトレマイオスが作ったギリシャ神話にまつわる星座の一つです。星座絵には二匹の魚の姿が描かれていますが、ギリシャ神話では愛と美の女神アフロディーテとその子エロスの姿です。

二人がナイル川の辺を楽しそうに散歩していると、突然怪物テュフォンが現れました。2人は驚き大急ぎで逃げましたが逃げ切れるものではありません。そこで2人は魚に姿を変え川に飛び込み無事逃げ切ることができたのです。その様子を天界から見ていたゼウスは、二人が離ればなれにならないようリボンで結んだのだそうです。なかなかしゃれたことを・・・やるな、ゼウス。

魚座の二匹は「北の魚」と「西の魚」と呼ばれていますが、星座の形から「北の魚」をサンマかうナギ、「西の魚」はタイの様に見えます。

魚座には春分点があるため天文学上重要な位置にあります。春分点は太陽が南半球から北半球に入る位置で、天体の座標を決めるための基準点になります。現在の春分点は西の魚のしっぽの近くにあり



ますが、毎年少しずつ西へ移動しているため 2620 年ごろにはとなりの水瓶座へと変わります。

魚座にはあまり明るい星がなく、結び目にある星が 4 等星であるほかは 5 等星以下の星ばかりです。その星は 4.3 等星と 5.2 等星が並ぶ二重星で、8 cm くらいの望遠鏡でわかりますが、この星は 720 年周期でまわる連星なのです。二つの角度は次第に近づいてい、小口径では見づらくなってきているのですが、2074 年に最も近づき、そのころは 15 cm 以上の望遠鏡でなければ見られなくなります。

南魚座もプトレマイオスがギリシャ神話を元に作った 48 星座の一つです。水瓶座の南に位置し、星座絵では水瓶からこぼれる水が魚の口に注ぐように描かれています。

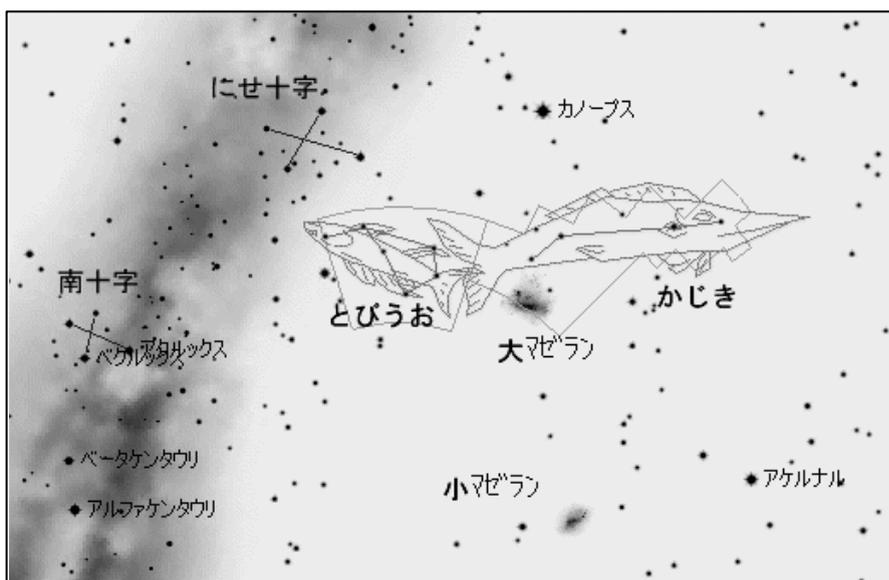
ある日、神々がナイル川のほとりに集まり、牧羊神パーン主催の宴会を催していました。宴もたけなわのころ突然怪物テュフォンが現れたのです。テュフォンは頭が百もあって尾は蛇のようにとぐろを巻き、目と口から火を吐き暴れまくるという怪物です。突然現れた歓迎せざる客に驚いた神々は、地を走り空を駆け抜け抜け川に飛び込み散り散りに逃げました。愛と美の女神アフロディテも魚に姿を変えて川の中へ逃げ難を逃れたのです。魚座でも怪物テュフォンに襲われているので、二度も同じような事件に巻き込まれているのです。

みなみのうお座にはフォーマルハウトという 1 等星があります。1.2 等星とやや暗めの 1 等星ですが、秋の星座の 1 等星はこれひとつだけという、寂しい秋の星座の中にあっては貴重な星です。この星までの距離は 22 光年で、1 等星の中ではリギル・ケンタウルス、シリウス、プロキオン、アルタイルに次いで近い星です。

### 旗魚(かじき)座

旗魚座は 17 世紀にバイエルによって作られた新しい星座です。16 世紀以降につくられた星座は大航海時代に（ヨーロッパの）船乗りたちが、いろいろな場所で見つけた目新しいものを星座に付け加えています。そのため神話はありません。

旗魚座は大犬座の南にあります。東北地方南部から見え始め、九州地方で半分くらい、沖縄の南端でも全体は見えません。低空でしかも 3 等星以下の星でできているためなかなか旗魚の姿を想像するのは難しいです。星座としては目立たないですが、この星座の南側南隣のテーブル山座との間に大マゼラン銀河があります。大マゼラン銀河は我々の最も近い銀河です。大マゼラン銀河は残念な



からフィリピンあたりまで行かないと見えませんが、南半球では高く上がり一見雲の切れ端のように見えます（編者は見たことありません^^;）。旅行の際はお確かめ下さい。日本では冬の星座ですが、南半球では季節は夏です。

### 飛魚座

飛魚座も 17 世紀にバイエルによって作られた新しい星座で、旗魚座の東どなりにありますが、日本からはほとんど見えません。

本来は Piscis Volans（飛ぶ魚）で、特にトビウオのことを言っているわけではなかったのですが、日本ではそのまま訳して飛び魚になってしまいました。星座は 6 個の 4 等星がそれらしい姿を現しています。

とびうお座の北に十字を作る星があります。南十字にそっくりなので『にせ十字』と呼ばれていますが、『にせ十字』の方が大きく目立つので初めて見た人はよく間違えると言うことです。

飛び魚というと大きな胸びれと腹びれで水面近くを飛ぶ魚で、一飛びで 100～300m も飛ぶそうです。九州を始めとして西日本の日本海側では飛び魚漁が行われていますが、残念ながら北海道ではほとんど店頭に並ぶことはありません。

「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator6 (AstroArts)** を使用しています。

## 綺 羅 星 列 伝

今回は残念ながら一遍しかありません。皆さんの星物語よろしゅうお願いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

### 星の名前 : **YUKARI1205**

結婚して 1 年。今年はいろいろと出費があり、「誕生日プレゼントはいらないよ」「そうだね、わかった」というやりとりを夫としていました。そして迎えた誕生日。食事やドライブに連れて行って来て、それだけで十分素敵な誕生日を感じていました。

数日後「少し遅くなったけど・・・」と小包を渡してくれた夫。ゆっくり開けてみると、私の名前

と誕生日を組み合わせた星の名前が書いてありました。涙ぐむ私に夫が「いつか家族みんなでこの星を見に行こう」と行って来て、「この人と結婚して本当に幸せだなあ」と実感しました。

現在妊娠 7 ヶ月。いつか必ず、家族で My star を見に行きます。

# こちら情報室

## 天文情報（6月～11月）

### 流星・彗星

8月13日を中心に**ペルセウス座流星群**が見られます。今年は13日が新月ですからこの上ない好条件で見られます。活動は1ヶ月ほど続きますが、10～15日ころが多く見られます。

10月21日未明に**オリオン座流星群**が見られます。去年は予想以上に活発でしたが今年はどうでしょう。11月18日未明の**しし座流星群**は上弦の月で、夜半過ぎに月が沈みます。活動はかなり沈静化しています。

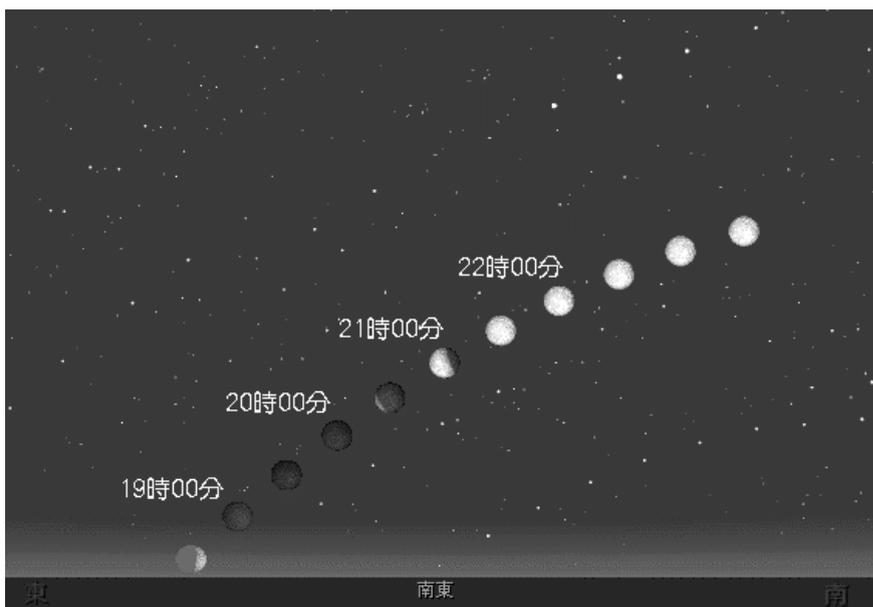
今年の1月はマックノート彗星が昼間肉眼で見えるほど明るくなり話題を振りまきました。後半は特に明るいものはありませんが、新たに見つかったり、予想以上に明るくなるものがあるかも知れませんが、天文ニュースに注目しましょう。

### 日食・月食・星食

8月28日に皆既月食が見られます。月は上る前から欠け始めていますが、18時52分から20時23分まで皆既月食になり、21時24分に終了します。また皆既月食の真っ最中にみずがめ座シグマ星（4.8等）が月に隠される食が見られます。

月による**すばるの食**は7月11日明け方、9月30日夜中、11月24日夕方の3回あります。

惑星が月にかくされる惑星食は**6月19日の土星食**があり16時50分前後に潜入、18時前後に出現です。日没前なので望遠鏡でも見るのは難しいでしょう。



### 惑星

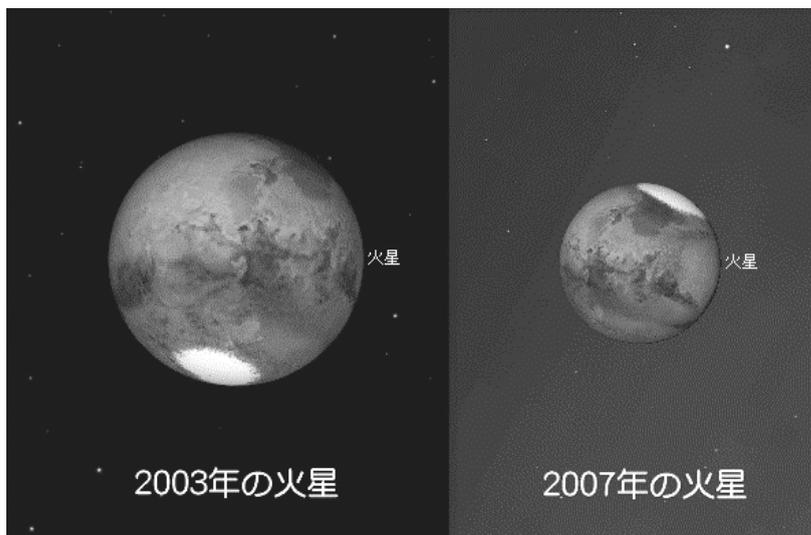
水星：6月2日、9月30日に夕方の空で最大離隔、7月20日、11月9日は明け方の空で最大離隔になります。

金星：宵の西空に見えています。6月9日に最大離隔、7月12日最大光度、8月16日内合で以後明け方の空に移ります。9月24日に最大光度、10月29日に最大離隔と今年の後半はめまぐる

しく変わっていきます。最大離隔のころは半月型に見えるようになり、肉眼でも日中の青空の中に光った金星を見ることができるようになります。

火星：12月19日の地球最接近にむけて近づきつつあります。今回の接近は8800万kmで2003年の大接近に比べると3000万kmも遠くあまり大きく見えません。

木星：6月6日に地球に接近し夏から秋の前半にかけて見やすいです。ここしばらくは南に低く観測条件はやや悪くなっていますが、木星は大きいので十分見やすいでしょう。



土星：7月上旬まで見られますが、見やすいのは6月いっぱいまでで、その後しばらく休みになります。

天王星：9月10日に地球に接近しますが、遠いので小さく丸く見えるだけです。

海王星：8月14日に地球に接近します。

#### [連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

**これまで新規登録者には『MyStars 通信』を送付しておりましたが、諸般の事情により今回のNo25で終了とさせていただきますのでご了承願います。**

**なお、通信は今後も作成し初山別村のホームページ上で掲載いたしますので、引き続きご覧いただきますようお願いいたします。**

**また、登録者の方でインターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いいたします。**

#### [編集後記]

2007年4月末現在の登録者数は7935名です。

今年の冬はさまざまところで地震や異常気象が相次ぎました。能登半島近辺で地震の被害に会われた方々にお見舞い申し上げます。ここ数年言われていることですが、冬が暖かく雪不足で悲鳴を上げたスキー場が多かった反面、梅や桜の開花が早まってあわてた人も多かったでしょうね。かと思ったら4月に入ってから関東地方で雪が降ったりしていましたが、初山別では雪が少なく除雪が少し楽でした。でも、このまま地球の温暖化が進めば、数十年後には氷河と北極・南極の氷がなくなり海に面した初山別も水没してしまうのでしょうか。・・・ちょっと心配。

天文の世界では、1月にマックノート彗星が昼間の青空の中でも見えるほど明るくなり驚きました。その後南半球ではグニャリと曲がった壮大な尾が見られ（編は見えていません）世界中の人々を魅了しました。彗星の画像はインターネットで検索すると見つかります。

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬 153-7

初山別村ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp